

令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ジェムゾ慈善医療センター内医療機材整備計画」
機材供与式典

2024年6月26日、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施される「ジェムゾ慈善医療センター内医療機材整備計画」の機材供与式典が実施され、奥山駐ヨルダン大使が出席しました。

本計画は、ザルカ県ザルカ市で医療センターを運営し、ヨルダン人貧困層や難民を対象に、無料又は非常に安価な診療費で医療サービスを提供するジェムゾ慈善協会に対し、医療機材（超音波検査機器、歯科用パノラマレントゲン、口腔内デジタルセンサー）を供与し、同協会が運営する医療センターの質の向上及び貧困層の健康増進を図るものです。本案件実施により、年間約3,600人の患者が、より正確な超音波検査を受けることが可能となります。また、同医療センター内に設置されている歯科では、年間4,000人がより安全で正確な歯科治療を受けることが可能となり、医療サービスへのアクセス向上が期待されています。

同式典には、協会職員・関係者が出席し、サミール・アブド＝アルジャワド同協会理事長からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。奥山大使からは、医療サービスへのアクセスが著しく制限されている難民を始めとする貧困層への支援は喫緊の課題であり、本支援が医療センターを利用する人々の健康増進に資することを期待する旨述べました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計159件、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。

